

Course number		G-LAS14 80007 SJ47					
Course title (and course title in English)	大学で教えるということ Teaching at University :A Preparing Future Faculty Program			Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Education Associate Professor,SATO MACHI Graduate School of Education Professor,MATSUSHITA KAYO Graduate School of Education Associate Professor,TAGUCHI MANA Center for the Promotion of Excellence in Higher Education Program-Specific Assistant Professor,KATSUMA LISA		
Group	Interdisciplinary Graduate Courses		Field(Classification)	Career Development			
Language of instruction	Japanese		Old group			Number of credits	2
Hours	30	Class style	Seminar (Face-to-face course)		Year/semesters	2025・Intensive, Second semester	
Days and periods	Intensive February 9, 10 and 12 (planned)		Target year	Graduate students		Eligible students	For all majors
(Students of Graduate School of Education cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)							
[Overview and purpose of the course]							
<p>理系・文系を問わず、大学教員を目指す大学院生にとって、研究者としての力量とともに、教育者としての力量を養うことは、近年とくに重要になってきている。公募条件に模擬授業を課す大学も増えてきている。しかし、大学で教えることについての専門的な訓練は受けていない。自らの研究領域を初学者である学生に教えるためには、相応の知識と技能が必要になる。</p> <p>本授業では、講義や演習、模擬授業や検討会を通じて、大学で教える上で必要となる基本的な知識と技能を身につけることを目的とする。加えて、大学院生同士が、研究科や専門分野の枠を超えて「大学で教えるということ」について議論を行うことで、大学で教えるということに関する広い視野を持つことを目指す。</p>							
[Course objectives]							
(1) 大学教育の現状を知り、理解すること (2) 授業デザインに関する基本的な知識を知り、理解すること (3) 効果的な授業デザイン（到達目標・評価方法）を作成すること (4) 多様な授業方法を知り、活用方法を計画すること (5) 模擬授業・検討会を通じて、授業実践の技能を磨くこと (6) グループでの協同作業に積極的に関わること (7) 自身が大学で教えることに関する広い視野と具体的なイメージを持つこと							
[Course schedule and contents)]							
<1日目> ガイダンス、アイスブレイク ミニ講義・討論：大学教育改革の動向を知る ミニ講義：授業デザインの基礎を知る ミニ講義・演習：シラバスをデザインする グループワーク：テーマ設定・シラバス作成 <2日目> ミニ講義・演習：様々な教授法を体験する 授業デザインシートの説明・作成事例紹介							
<div style="text-align: right;">Continue to 大学で教えるということ(2)</div>							

大学で教えるということ(2)

グループワーク : 授業デザインシート作成
中間発表・相互コメント
グループワーク : 授業デザインシート作成、模擬授業の準備
<3日目>
模擬授業準備
模擬授業・検討会
模擬授業・検討会
評価を受けてのグループ討論
グループ発表

[Course requirements]

要件は特に設けていない。学生主体の授業のため、積極的な参加が求められる。また、グループワーク形態のため、原則として全日程への参加が求められる。

[Evaluation methods and policy]

グループ活動への積極的な参加 (20点)・・・特に、目標(6)と関連
シラバス、授業デザインシートの質 (20点)・・・特に、目標(3)(4)と関連
模擬授業の質 (30点)・・・特に、目標(5)と関連
ピア・レビューシート (10点)・・・特に、目標(6)と関連
最終レポート (20点)・・・特に、目標(1)(2)(7)と関連

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)

京都大学高等教育研究開発推進センター (2012) 『生成する大学教育学』(ナカニシヤ出版)
ISBN:978-4779506451
田口真奈・出口康夫・京都大学高等教育研究開発推進センター (2013) 『未来の大学教員を育てる - 京大文学部・プレFDの挑戦 - 』(勁草書房) ISBN:978-4326250882
夏目達也・近田政博・中井俊樹・齋藤芳子 (2010) 『大学教員準備講座』(玉川大学出版部)
ISBN:978-4472404009
佐藤浩章編著 (2010) 『大学教員のための授業方法とデザイン』(玉川大学出版部) ISBN:978-4472404184
松下佳代・京都大学高等教育研究開発推進センター (2015) 『ディープ・アクティブラーニング - 大学授業を深化させるために - 』(勁草書房) ISBN:978-4326251018
溝上慎一 (2014) 『アクティブラーニングと教授学習パラダイムの転換』(東信堂) ISBN:978-4798912462
中井俊樹編著 (2015) 『シリーズ大学の教授法3 アクティブラーニング』(玉川大学出版部)
ISBN:978-4472405334
中島英博編著 (2018) 『シリーズ大学の教授法4 学習評価』(玉川大学出版部) ISBN:9784472405341

[Study outside of class (preparation and review)]

模擬授業の実施に必要な、シラバス、授業デザインシート、補助教材を作成するために、各グループで調整しながら授業外学習を行うことが求められる。

Continue to 大学で教えるということ(3)

大学で教えるということ(3)

[Other information (office hours, etc.)]

教育に関心がある大学院生だけではなく、将来大学教員という職種を希望している大学院生であれば、所属や専攻を問わず、受講を歓迎する。

なお、受講に際して疑問等がある場合は教育学研究科・高等教育学コース 佐藤 万知 (sato.machi.5r@kyoto-u.ac.jp) までメールにて問い合わせること。

[Essential courses]